

■節電行動計画(1枚目)

医療施設名	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター(研究所)			病床数	0床
都県名	東京都	住所(病院)	東京都小平市小川東町4丁目1-1		
担当者(部署)	久保木 隆 財務経理部財務経理課	担当者連絡先	直通電話	042-341-2712(内2150)	
			メールアドレス	rkuboki@ncnp.go.jp	

開設主体名	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター				
都県名	東京都	住所	東京都小平市小川東町4丁目1-1		
担当者(部署)	久保木 隆 財務経理部財務経理課	担当者連絡先	直通電話	042-341-2712(内2150)	
			メールアドレス	rkuboki@ncnp.go.jp	

契約電力量	需要設備番号	制限緩和適用前			制限緩和適用後	
		指定電力の値	使用制限率	使用できる電力の限度	使用制限率	使用できる電力の限度(a)
2042kw	A01a06732	2042kw	0.85	1736kw	1.00	2042kw

自主的な取組による目標と結果



目標使用予定電力(b)	目標電力削減率(c)	今夏の最大電力量(結果)
1818kw	10.0%以上	

節電対策メニュー

5つの基本アクションは原則として全て実施をお願いします

		実施予定	実行確認
照明	①事務室の照明を間引きする。 【具体的内容：事務室の照明を半分程度消灯する。】	◎	
	②使用していないエリア(外来部門、診療部門の診療時間外など)は消灯を徹底する。 【具体的内容：使用していない実験室等の照明を消灯する。】	◎	
空調	③病棟、外来、診療部門(検査、手術室等)、厨房、管理部門毎に適切な温度設定を行う。 【具体的内容：管理部門等は原則28℃に冷房温度を設定する。】	◎	
	④使用していないエリア(外来、診療部門等の診療時間外)は空調を停止する。 【具体的内容：使用していない実験室等の空調を停止する。】	◎	
	⑤日射を遮るために、ブラインド、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する。 【具体的内容：日射を遮るためにブラインドを活用する。】	◎	

日付	日付
6/30	

※この様式は経済産業省より提示された「小口需要家の節電行動計画の標準フォーマット」をもとに作成されたものです。

■節電行動計画(2枚目)

さらに可能な限り下記のメンテナンスや日々の節電努力もお願いします

		実施 予定	実行 確認
節電 啓発	⑥節電目標と具体策について、職員全体に周知徹底し実施する。 【具体的内容：毎日、センター内ネットワーク（desknet's）で節電目標と具体策を確認する。】	○	
	⑦節電担当者を任命し、責任者(病院長・事務長など)と関係部門が出席したフォローアップ会議や節電パトロールを定期的を実施する。 【具体的内容：節電対策会議を組織して、定期的に節電対策を点検し、実施状況を確認する。】	○	
	⑧医療機関の関係者に対して、家庭での節電の必要性・方法について情報提供を行う。 【具体的内容：全職員に対して家庭での効果的な節電方法を情報提供する。】	○	
照明	⑨従来型蛍光灯を、高効率蛍光灯やLED照明に交換する。 【具体的内容：本館・2号館内の従来型蛍光灯を高効率蛍光灯に交換する（7月中旬目途）。廊下等に人感センサーを設置し節電を図る（8月上旬目途）】	○	
	⑩病棟では可能な限り天井照明を消灯する。 【具体的内容：】		
空調	⑪室内のCO2濃度の基準範囲内で、換気ファンの一定時間の停止、または間欠運転によって外気取り入れ量を調整する(外気導入による負荷を減らし冷房効率をあげるため)。 【具体的内容：】		
	⑫フィルターを定期的に清掃する。 【具体的内容：全ての空調のフィルターを清掃する。】	○	
	⑬搬入口の扉やバックヤードの扉を必ず閉め冷気流出を防止する。 【具体的内容：扉の開閉を徹底する。】	○	
	⑭電気以外の方式（ガス方式等）の空調熱源を保有する場合はそちらを優先運転する。 【具体的内容：】		
コンセント 動力	⑮調理機器、冷蔵庫の設定温度の見直しを行う。 【具体的内容：冷蔵庫の設定を「弱冷」にする。】	○	
	⑯電気式オートクレープの詰め込み過ぎの防止、定期的な清掃点検を実施する。 【具体的内容：電気式のオートクレープに詰め込みすぎないように工夫する。】	○	
	⑰温水洗浄便座、エアタオル等のプラグをコンセントから抜く。 【具体的内容：温水洗浄便座を停止する。】	○	
	⑱自動販売機の管理者の協力の下、冷却停止時間の延長等を行う。 【具体的内容：自動販売機の管理者の協力の下、9：00～16：00（7時間）の間、冷却停止する（4台中3台）。】	○	
その他	⑲デマンド監視装置の設定を契約電力以下とし、警報発生時に予め定めた節電対策を実施する。 【具体的内容：デマンド監視装置を設置し、センター内で情報提供する（7月中旬目途）。】	○	
	⑳コージェネレーション設備を設置している場合は、発電優先で運転する。 【具体的内容：】		
	㉑OA機器の節電対策について定めたメニューを実践する。	○	
	㉒7月から9月まで原則水曜日を「ノー残業デー」とする。	○	
	㉓エレベーターを半分程度間引きする。	○	
	㉔3号館について自家発電機を稼働し電気を供給する（14：00～17：00目途。）。	○	
	㉕RI管理区域の空調・排気設備は通常は停止する。RI実験計画書を提出し、実験計画に応じて必要時のみ運転する（△35.5kw）。	○	

日付	日付
6/30	

※この様式は経済産業省より提示された「小口需要家の節電行動計画の標準フォーマット」をもとに作成されたものです。